

1:22 ヨセフの一族もまた、ベテルに上って行った。主は彼らとともにおられた。

23 ヨセフの一族はベテルを探った。この町の名は以前はルズであった。

24 見張りの者は、ひとりの人がその町から出て来るのを見て、その者に言った。「この町の出入口を教えてください。私たちは、あなたにまことを尽くすから。」

25 彼が町の出入口を教えたので、彼らは剣の刃でこの町を打った。しかし、その者とその氏族の者全部は自由にやった。

26 そこで、その者はヘテ人の地に行って、一つの町を建て、その名をルズと呼んだ。これが今日までその名である。

27 マナセはベテ・シェアンとそれに属する村落、タナクとそれに属する村落、イブレアムの住民とそれに属する村落、メギドの住民とそれに属する村落、メギドの住民とそれに属する村落は占領しなかった。

28 イスラエルは、強くなってから、カナン人を苦役に服させたが、彼らを追い払ってしまうことはなかった。

29 エフライムはゲゼルの住民カナン人を追い払わなかった。それで、カナン人はゲゼルで彼らの中に住んだ。

30 ゼブルンはキテロンの住民とナハラルの住民を追い払わなかった。それで、カナン人は彼らの中に住み、苦役に服した。

31 アシェルはアコの住民や、シドンの住民や、またマハレブ、アクジブ、ヘルバ、アフェク、レホブの住民を追い払わなかった。

32 そして、アシェル人は、その土地に住むカナン人の中に住みついた。彼らを追い払わ

なかったからである。

33 ナフタリはベテ・シェメシュの住民やベテ・アナテの住民を追い払わなかった。そして、その土地に住むカナン人の中に住みついた。しかし、ベテ・シェメシュとベテ・アナテの住民は、彼らのために苦役に服した。

34 エモリ人はダン族を山地のほうに圧迫した。エモリ人は、彼らの谷に降りて来ることを許さなかった。

35 こうして、エモリ人はハル・ヘレスと、アヤロンと、シャルビムに住みとおした。しかし、ヨセフの一族が勢力を得るようになると、彼らは苦役に服した。

36 エモリ人の国境はアクラビムの坂から、セラを経て、上のほうに及んだ。

エジプトでは奴隷の民で、生まれた男子は皆殺しという危険にさらされ、また逃れてきた荒野では飢えと渇き、そして他民族の攻撃に悩まされてきたイスラエルの民でしたが、ここに来てようやく自分たちの土地を手に入れることができるようになりました。しかしそれは話し合いのできるものではなく、命を賭けて戦わなければならないのです。

またそれは信仰の戦いでもありました。先住の民もまた戦いによって手に入れた土地ではありましたが、彼らは偶像異教の民であり、中には子どもを焼き殺して神々にささげるというものまであったのです。神様はそのような民を全く追い払うようにせよと命じましたが、それは彼らの異教からの影響を排除するためでした。

しかしヨセフ族はベテルを策略によって簡単に手に入れたゆえに、神の命令を守らずに異教の民を残してしまいました。そしてマナセ以下の部族もまた同じ事をしてしまったのです。

簡単に目的を達成できることは良いことです。

しかしそれで神の恵みや助けを忘れて、その御心までも忘れてしまってはなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

